

## 国の検討状況について

### 1 経緯

#### ( 事案対応関連 )

5月21日に、ホルムアルデヒドが検出された原因究明のため、厚生労働省と環境省が連絡会議(課長級)を開催し、今後の対応について検討。

5月24日に、厚生労働省の研究機関によって、主な原因物質がヘキサメチレンテトラミンであることが推定。

6月14日に、「利根川水系における取水障害に関する今後の措置に関する検討会」(第1回)を都内で開催。

今後、7月中に検討会を2回開催し、中間とりまとめを行う予定。

### 2 第1回検討会の概要(6/14)

#### ( 検討会の目的 )

今回の事案は、取水停止が1都4県に及ぶものであり、今後の再発防止や問題が生じた場合の迅速な対応を図る観点から、水質汚濁防止法及び廃棄物処理法における制度的な対応に関して検討を行う。

#### ( 検討する事項 )

再発の防止に関する事項

問題が生じた場合の迅速な対応に関する事項

その他水質汚濁防止法及び廃棄物処理法における制度的な対応に関する事項

#### ( 検討会の構成員 )

別紙のとおり。

#### ( 当日の議題 )

利根川水系における取水障害に関する今後の措置に関する検討会について

利根川水系における取水障害及びその対応について

検討にあたっての論点について

その他

利根川水系における取水障害に関する今後の措置に係る検討会 委員名簿

浅見 真理 国立保健医療科学院生活環境研究部水管理研究分野上席主任研究官

大塚 直 早稲田大学大学院法務研究科 教授

酒井 伸一 京都大学環境科学センター センター長

下井 康史 筑波大学大学院ビジネス科学研究科 教授

滝上 英孝 国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター  
ライフサイクル物質管理研究室 室長

中杉 修身 上智大学大学院地球環境学研究科 元教授

新美 育文 明治大学法学部 教授

畠山 真一 埼玉県環境部長

細見 正明 東京農工大学大学院工学研究院化学システム工学科 教授

森田 昌敏 愛媛大学農学部 客員教授

山口 栄一 群馬県環境森林部長

オブザーバー 厚生労働省健康局水道課  
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課

## 検討に当たっての論点

- ヘキサメチレンテトラミンを含む水が大量に公共用水域に排出されたと推定される今般の事案を勘案した場合、当該物質の公共用水域への排出の防止のために、どのような措置を行うことが必要か。
  
- ヘキサメチレンテトラミンを含む排出水が公共用水域に排出された場合には、どのような措置を行うことが必要か。
  
- さらに、事業場からの排出水に係る対応を行うことが必要か。
  
- ヘキサメチレンテトラミンを含む廃液を産業廃棄物として産業廃棄物処分業者に処理委託する際に、適正な処理を確保するために、排出事業者及び処分業者は、どのような措置を行うことが必要か。
  
- ヘキサメチレンテトラミン以外の物質で、浄水場において塩素注入を行うことによりホルムアルデヒドが生成する物質（ホルムアルデヒド前駆物質）についても、対応を行っていくことが必要か。